

中 岳



熊本市歯科医師会会誌

第 71 号

特集「在宅歯科診療はいま」

“熊本市民健康フェスティバル開催さる”

目 次

「在宅歯科診療はいま」	
① 訪問歯科診療事業経過について……………	関 剛 一…… 2
② 体験を通しての在宅歯科診療を考えて	
① 在宅老人訪問歯科診療を経験して……………	岩 村 泰 行…… 3
② “ ” について……………	緒 方 講 治…… 5
熊本市民健康フェスティバル……………	弥 永 康 博…… 7
	分 山 和 男
医専連シンポジウム	
テーマ「8020」について……………	中 根 俊 吾…… 8
噛めば人生……………	元 島 博 信…… 9
歯の大切さ……………	矢毛石 豊……10
素晴らしい人生をあなたのものに……………	瀬 口 聡 子……11
(かみしめる喜び編)	
私の「8020」かみしめる人生……………	室 原 盈 祐……12
講演会“在宅老人訪問歯科診療”……………	緒 方 敏 克……13
講演会“歯周補綴”……………	西 野 隆 一……14
勉 強 部 屋	
総義歯問題点への対応……………	添 島 正 和……18
家 族 紹 介……………	23
本 日 休 診	
ヨーロッパを訪ねて……………	岩 村 泰 行……27
支 部 便 り……………	永 野 忠……32
	秋 山 清……33
委員会対抗ゴルフ大会……………	松 本 光 示……34
4委員会合同研修会及びゴルフコンペ……………	合 沢 康 生……35
新人会員紹介……………	36
菊池英一先生の死を悼んで……………	中 根 俊 吾……39
	山 室 紀 雄……40
会 務 報 告……………	41
編 集 後 記	

「在宅歯科診療はいま」



(岩村泰行先生の写真より)

はじめに

我が国は、世界有数の長寿国であり、高齢者・寝たきり老人は増加の一途をたどっています。それで私たち歯科医師は、この大きな問題をさけて通ることはできなく、真剣に取り組んでいかなければなりません。

まず本会事業の経過報告、次に実際に診療された2人の先生方の経験を紹介して、この

事業に対する将来への展望の手助けになればと考え、企画しました。

1 訪問歯科診療事業経過について

専務理事 関 剛 一

○在宅歯科診療希望者は65%

日本の人口の高齢化は歯科医療に於てもその性格を大きく変えて来ている様に思われる。つまり歯科に対する一般社会のニーズの変化であり、複雑なる社会環境の中で口腔内状況及び疾患をも変化させている様に思われる。その様な環境の中で数年前より熊本市の各保健所の実際に寝たきり老人に接している衛生士・保健婦よりそれらの老人に対する医療の確保を市歯科医師会あてに要望された。各保健所・センターではそれ等老人からの歯科診療の要望があれば管轄の診療所に依頼していたのであるが、仲々困難な問題があり、訪問

歯科診療をシステム化の基に行えたらという要旨であった。

○100診療所の Dr. が何らかの形で協力したい。

本会ではそれ以前より身障者を含めた熊本市の寝たきり者に対する医療の確保を考えていたが、行政（市衛生部）では5保健所・センター管轄の寝たきり老人を対象とした「歯科保健状況調査報告書」をこの7月にまとめた。この調査報告書の子細は次号に掲載するとして内容の要旨は

- 1) 経過
- 2) 調査状況
- 3) 対象者の内容

4) 歯科関係調査結果

5) 在宅訪問歯科診療の要望状況

についての調査報告書である。中でも在宅歯科診療希望者数は有歯顎者・無歯顎者を含め65%にものぼった。

○訪問歯科診療臨時委員会を設置

それより先、本会では「訪問歯科診療臨時委員会」を4月1日設置し本格的に本事業に取り組み始め資料収集、考察を重ね、全会員向け在宅診療に対する往診可能な歯科医についてアンケート調査を行い、100診療所の先生方が何らかの形で訪問診療に取り組みたいとの調査結果を得た。

さらに臨時委員会では本事業の運営協議会、実施要綱等の検討を重ね、現在市衛生部と「訪

問歯科診療検討会」を行い、「熊本市在宅寝たきり老人歯科診療事業」（事業名、実施期日、関連委員会、実施準備事業、事業主体、実施主体、事業内容、対象者、運営費、委託費、報告書、医師との関係、保健婦との関係、器械器具、2次医療機関、事故対策、事業の流れ）が永続的に且つ協力医が積極的に取り組める様検討中である。

○本事業は平成3年より実施予定

又本事業は平成3年度より実施予定であり、その間にDr. DH 向け勉強会、講演会等を実施、及び手引き書作製等予定しておりますので会員の皆様の御協力の程お願い申し上げます。

2 体験を通しての在宅歯科診療を考えて

① 在宅老人訪問歯科診療を経験して

岩 村 泰 行

高齢化社会に伴い寝たきり老人も増えています。このことをふまえて、社会保険診療でもこれを取り上げ、歯科往診ができるようになりましたことはご承知の通りでございますが、色々問題点もあろうかとぞんじます。まだ日が浅く、多くの症例はございませんが、二三の症例を得ましたのでご報告致します。私共の診療室には寝たきり老人の情報がほとんど入りません。また仮にそのことが判ったとしても、患者またはその家族から診療の依

頼がなければ当然のことながらこちらから出向くわけにはまいりません。

今回は昨年町内の寝たきりオーバーチャンを介補されていたお嫁さんが当医院に治療にいられてその際ご相談を頂き、そのオーバーチャンをみてあげましたが、その時お嫁さんのお話しでは、歯科で往診していただけたらどんなに皆助かることでしょう。出来るようになれば良いのですが、保健所にも話しておきましようとのことで、そのままになっておりま

した。

今年になって突然保健所から診療依頼の電話があり、次のように診療した次第です。

- 1) 出来れば公共的立場（保健所、保健センター）からの依頼

保健婦さんが行っておられるようです
地区別、地区毎に。（西部から電話がありました
ましたが遠距離のためお気の毒でした
が辞退しました）

- 2) Dr が二人あるいはそれ以上おられる場合は良いでしょうが、Dr 一人の診療所ではやや難しいのでは。（この場合は院内、外来患者の予約制と曜日、時間を考慮工夫しては）

- 3) 寝たきり老人はなんらかの全身疾患をもっておられますので、その患者の掛けの一般医との連絡（全身症状の把握、および不慮の事故に備えて）をとっておく。

- 4) 診療器具は一応すべての疾患に対応出来る範囲のものを備える救急処置に対応する器材。

（今回は硬組織疾患がなく欠損補綴でしたが歯内療法を伴う場合はやや困難では）

- 5) 寝たきり老人の場合、健康な一般患者と違ってある程度状況を勘案した処置が必要ではないかとおもわれます。

以上少ない症例ではありますが、実行してみte感じたことを述べて見ました。御参考になれば幸いかと存じます。尚今後ともご指導の程よろしく願いいたします。

症例 1

山○喜○ 87才 初診 H. 2. 3. 26

既往症 S. 50. 3. 脳梗塞

現 症

1) の J. K 脱離

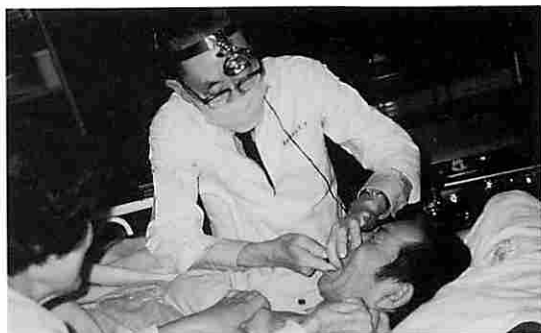
7 6		2 3 4 5 6 7
7 6 5 4 3 2 1		1 2 3 4 5 6 7 M. T

処 置

1) 1) の J. K. の修復

2) 上下顎 P. D. および F. D. の作製

初診より 7 回で終了現在経過良好



症例 2

前○幸○ 86才 初診 H. 2. 4. 3.

既往症 脳血栓

現 症 腸疾患のため お粥食

血圧 正常

7 6 5 4 3 2 1		1 2 3 4 5 6 7
7 6	3 2 1	1 2 3 4 M. T

処 置 上下顎 M. T にたいして F. D. および P. D. の作製

初診より 6 回で終了、現在経過良好

保健所より 週 2 回保健婦が 2 名きている

② 在宅老人訪問歯科治療について

緒 方 講 治

平成2年4月より7月までに計7回の在宅老人の歯科診療を行なう機会を得たので、私見を述べさせていただきます。

慢性気管支炎にて無理をすると微熱が持続するため、この数年間在宅にて加療中の80歳の女性で義歯不適合と疼痛の為、義歯新製希望との家族からの依頼を3月末に受けた。

4月よりの点数改正への不慣れと、まず「寝たきり老人」とは、どのような症状の人を指すか理解できず、書籍や先輩への質問、保健所、老人福祉課に問い合わせて調査したところ、完全に離床できぬ人だけでなく、用便等家の中を移動可能な人や家の周囲を軽く散歩できる状態の人まで含む事がわかり、不安を覚えながらも日曜日の午後に往診した。

患者宅前に違法駐車しつつ訪問すると、蒲団の枕元にビニールを敷き正座した患者を横から手をついて覗き込む状態で診療を開始した。患者は、興奮気味で義歯の不都合等を長々と述べ、なかなか口を開けてくれず、「不満を聞くのも往診の重要な目的だから」と自らを押さえていると、やっと診る事ができた。すると、鉤歯欠損後も局部義歯を使用しており、残存歯附近に膿瘍も認めたため、体温血圧を測定し、医科からの注意等を確かめた後、注射を避け表面麻酔下で切開し、増歯等の修理と粘膜調整、併せて④を採得した。これらに1時間45分を要し汗だくで帰院した後、石膏

流しや後始末、カルテ点検を行なうと2時間がさらに経過し背中や腰の痛みとも相俟って「安請け合うのではなかった。」と不平を漏らしながら早々に就寝し、私の日曜日が終わりました。

その後も、体調不良の時に何とか採得した高径が失敗したり、往診後に患者が発熱、診療を中断し1ヶ月待機したりしながら、7月に新義歯装着にまで漕ぎつけた。往診の前は、憂うつになり、後は、汗みどろになり腰背の痛み、何回後悔したか数え切れないが、装着後の患者の笑顔に満足感を覚えた次第です。ところが、装着後調整に往くと、食事の時は新義歯をはずして旧義歯を使用しており、その吸着力低下を訴えたため「術者の自尊心より患者の幸せが大事」と苦笑しつつ、これにリベースを施しました。ここで在宅老人に於いては、食事が採れる事が第一であり「新作に時間をかけるより、旧義歯の修理だけで充分だったのでは…」と方針の甘さと技量不足を痛感してしまった。

以上の処置により、患者に請求する車馬代の目やすが無い事、請求方法に悩みながらも、④適用した事もある、合計11,379点の請求を行なったが、昨日、日曜の加算を否認され、緊急性がない為かと考えながらも多少恨めしく思っている。

たった一人を診療しただけでも、老齢で有

病であるため病態や反射機能低下による容態急変への対処及び補償の点、往診中休診するか、又は、時間外に行なわねばならず、その間の他のスタッフの処遇や休息時間が短縮され研修をいつ行うかという点、加算があるにしても、隣りの診療台で併診できず、移動の時間や後処理に要する時間が考慮されない点、価格のみならず携帯不能な為の機材不足の点、医科で認められ歯科で認められない駐車許可の点など難問が山積しているのが感じられた。しかし、在宅ケアを勧める方針もあり、歯科の往診を求める声は急増して来ており、私の所でも2件をかかえています。

これらの事から、採算性とドクターの健康

に疑念が残るとする経営者の心理と、往診義務を持つ医療人としての「患者の希望に答えたい」という気持との葛藤に悩んで来ました。現在は、未熟ながらも、患者に「歯科医師は、あなた方を見棄ててはいけないと思っております」という思いを伝えたく、休診日を決めても往診を行うつもりです。

できうれば、保健所等に診療ベッドを装備し、何人かの寝た切り老人の患者を集めて治療可能となり、移動時間の節約ができる様な行政からの援護を期待したいと思います。

独断と偏見に満ちた私見をくり述べ心苦しく思いますが、先輩諸賢の御教示をお願いいたします。

むすび

在宅での歯科診療で考慮すべき点は、応急処置的なものに限ることが必要で抜髄、根治、補綴処置までやろうと考えると医療事故に結びつく危険性を含んでいる。いまから本格的に在宅老人訪問歯科治療を行なっていくには、行政・医師会などと十分な協議を重ねていくと同時に早急にシステムの整備を進めていかなければならない。

(H2. 8. 18 鈴木俊夫先生の講演会より)

熊本市民健康フェスティバル

～これからの健康、21世紀に向かって～

フェスティバル開会式のテープカット



10月13日（土）14日（日）の両日、熊本市立体育館で第8回熊本市民健康フェスティバルが開かれました。このフェスティバルは中根俊吾熊本市歯科医師会会長・白男川史郎熊本県医師会会長・柏木明熊本市医師会会長・来賓の方々の出席のもと、田尻靖幹熊本市長の挨拶で開幕しました。

主催者・来賓によるテープカット後、多くの市民の方々が入場され、各種の検査などを無料で行なう「検査・相談コーナー」では、健康への関心の高さを裏付けるように長い列が出来ました。

今年も昨年同様、熊本市と医師会・歯科医師会・保健医療専門団体連合会が一丸となって取り組み、多くの団体の後援協力のもと、健康についての楽しい展示と催しが開催されました。

会場では、熊本市医師会による「健康相談」・熊本市薬剤師会による「くすりの相談」・

熊本県助産婦会による「妊産婦相談」・県看護協会による「看護相談」・県栄養士会による「栄養相談」・そして医専連加盟各団体による各種健康相談・検査・指導・フォーラム・パネル展示・市民講座などがあり、開会と同時に多くの市民で連日賑わいました。

熊本市歯科医師会は、口腔衛生委員会が学校歯科委員会の応援を得て歯科の健康相談コーナーを担当し「歯科検診」・「歯科健康相談」を行い、熊本県歯科衛生士会による「刷牙指導」、熊本市技工士会による「義歯のできる迄の展示と説明」のコーナーなどが設置されていました。

また同日、青年会館で開催された医専連シンポジウム『「8020」かみしめる人生の喜び』については後で紹介致します。

そのほかチャレンジコーナーとして、元気の良い1歳未満の乳児100人による「赤ちゃんハイハイ競争」、歯の健康に自信がある人による自分の歯でリンゴの皮をむく「ビーバーに挑戦」、「減量コンテスト」・「ウルトラ栄養クイズ」・「ヨーガ体操」・「ミニバレーボール大会」などがあり、家族皆で楽しく健康の大切さ、ありがたさを再確認したようです。

「熊本市民健康フェスティバル」の2日間は、多くの市民の参加があり、最終日は中根俊吾会長による閉会式挨拶があり、イベント入場

者は2万名を越え盛況のうちに無事幕を閉じました。

稿を終えるにあたり、熊本市、熊本県衛生

士会、熊本市技工士会ほか関係者の方々の御協力に心より感謝致します。

口腔衛生委員 弥永 康博・分山 和男

医専連シンポジウム

「8020」(80才まで20本の歯で)



「8020」かみしめる人生の喜びの光景

会員、歯科衛生士、老人クラブ会長の講演がありました。聴衆は約330名で、3時間後西銘医専連副会長の閉会の辞をもって講演は終わりました。

10月13日(土)熊本市民健康フェスティバルの一環として13:30より、熊本市立体育館内の青年会館で医専連シンポジウムが開催されました。今回のテーマは『「8020」かみしめる人生の喜び』でした。このテーマに基づいて各種講演が行なわれました。柏木医専連会長の開会挨拶の後、座長・中根会長がテーマを「8020」とした理由を述べられ続いて市歯

テーマ「8020」について

全身健康管理上での噛むことの重要性

市歯科医師会会長 中 根 俊 吾

今回のシンポジウムのテーマを「8020」とした理由を簡単に述べておきます。

「8020」この意味する所はひと口で言いますと80才になっても20本以上の自分の歯を持つ、と云うことです。何だそんなことかとお思いの方もいらっしゃるかもしれませんが、

これには少々複雑な意味合いが含まれています。

最近の大阪大学の歯の残存数と咀嚼に関する調査によりますと高齢者になっても20本以上の歯が残っていれば、硬い食べ物も自由に食べられる、特別食でなく家族と一緒にのもの

が楽しく食べられる、ということが判ってきました。

一方、文部省の委嘱によって東京医科歯科大学のグループが「咀嚼と健康」についての研究を進めています。その研究の中間発表をみると、噛むという行為が、脳の中樞神経をはじめとして身体のあらゆるところに大きな影響を及ぼしていることを明らかにしています。この事はボケの問題や、寝たきりの問題にも噛むことが大きく関係しているのではないかという事を示唆しています。

そして近い将来、全身の健康管理もしくは健康科学を考える上で、「噛むこと」、「噛めること」の重要性が問われる時代が来ることになるでしょう。

又、長寿社会の中にあって、健やかに長寿を送る為にも、大変だいじなことの一つであると思います。

現在の日本人の平均寿命と以上の様なことを考え合わせてみますと、80才になっても、自分の歯が20本以上残っているならば、肉体的にも、そして大事なことですが精神的にも大変若々しい健康な生活が維持できると考えられる様になって来たのです。

ところが現実にはどうでしょうか。厚生省の最近の発表によりますと80才では4本の歯しか残っていないことが判っています。この理想と現実とのギャップをうめるために、歯科保健の最大目標として「8020」を今後、提唱していきたいと思っています。

この様な視点から、今後の保健衛生に大きく寄与するであろう「8020」運動を広く市民の皆様の中に浸透させる為の足懸りとしてこのシンポジウムのテーマを「8020」と設定しました。

噛 め ば 人 生

伸びる平均寿命、伸びない歯の寿命

市歯会会員 元 島 博 信



人間最高の幸せは健康であることです。その健康を支えるには、血や肉となる食べ物を噛み砕く歯が十分健康

でなければなりません。しかし人間はやゝもすると、歯の大切さを忘れ、むし歯や歯槽膿

漏で簡単に歯を失ってしまいます。歯を一本失っただけで、食べ物を噛み砕く力は、相当低下いたします。例えば下顎の第一大臼歯(6才臼歯)を一本失えば、20.59%噛み砕く力が減少するのです。

日本人の平均寿命は飛躍的に伸びましたが、残念ながら歯の寿命ははるかに短いものです。

奥歯は平均寿命より30年近く早くなくなり、前歯は奥歯より遅くまで残りますが、やはり15～20年前にはなくなってしまいます。だから人によっては、人生の一番大切な終りの期間を、金属ブリッジや入れ歯に頼らざるを得ず、自分の歯で噛める人は少ないのです。

もう一つの前歯の大切な役目は、歯が感覚器官であるということです。むずかしい言葉ですが、噛むだけでなく、感じる所でもあることです。例えば口の中に小さい砂がはいっても、ゴマのような小さい食べ物でも、それが何であるかすぐ判別できます、それは鋭い感覚を持っているからです。

この感覚は食生活をより豊かなものにいた

します。新鮮な果実や旬の味を歯ざれ歯ごたえで楽しむこともできます。特に日本食は、歯の感覚を利用した調理が多く、満足感は倍加いたします。それがもし入れ歯であったとしたら、この味覚の豊かさを味わうことはできません。

不幸にして、歯の病気にかかったら、回復への努力を重ねて欲しいと思います。その努力によって残した自分の歯が80才にして20本であれば、全身的にも精神的にも健康を支える大きな力になってくれるはずです。「8020」運動は歯科医のそんな願いがこめられています。

歯の大切さ

歯を残すための早期発見・早期治療

市歯会会員 矢毛石 豊



「8020」すなわち80歳になっても20本の歯で物をかめる人生を、という意味ですが、現在は70歳で総入れ歯をと

言うのが現状の様です。

虫歯は5歳～15歳の総数で93.6%の子供が虫歯を作っており、40歳以上の93%の人に歯周病（歯槽膿漏）が認められています。しかも全国の歯科医院で抜歯される歯のうち50%がこの歯周病が原因と言われ、また40%以上

が虫歯をともなった疾患だと言われています。この口腔内の二大疾患（虫歯と歯周病）から歯を守り、80歳で20本の歯を残す為には、子供の頃から次の4つを守る事が大切です。

1. 早期発見、早期治療
2. ブラッシング（歯みがき）
3. 定期検診による経過観察
4. 全身の健康管理

さて、この「早期発見、早期治療」ですが、この言葉はみなさんよくご存じのことと思いますが、しかしその意味を取り違えていらっ

しゃる方が多い様です。「痛くなったら、歯ぐきをはれてきたらすぐ歯医者さんへ行って治してもらおう」と思われているのでは、それでは効果的な治療は期待できません。痛くなってから、あるいは歯がグラグラして歯ぐきをはれてきてからでは遅いのです。痛くなったら、入歯の調子がおかしいからといった理由ではなく、定期的に歯科医院へ行って、口のなかの状態を見てもらうようにすればよいのです。定期検診で早目のチェック；これが歯科治療の原則です。

また口の中にできる癌（口腔癌）は特に定期検診による早期発見が大切です。口腔癌の発現頻度は他の癌（胃癌など）にくらべたら少ないのですが、発見が遅れる事により歯を含めあごの骨全部を切り取ったり、さらには生命まで失う事になります。多くは粘膜癌で、舌に多く、次いで歯肉（歯ぐき）に出来る歯肉癌の順で見られます。

この場所の癌は目で直接確かめたり、指で触れることが出来るので、他の臓器に出来る癌にくらべ早期発見が可能の様にみえるのですが、半数近くの方が進行した状態で歯科を受診されるようです。進んだものは治りにくいし、たとえ治っても顔の形が変わったり、物が食べられない、しゃべれないなどの障害を残すことになり、その苦しみは計りしれないものがあります。

口腔癌は胃癌のような集団検診は行なわれていませんが、年1～2回の虫歯、歯周病の検診時に、口腔癌の検診をしてもらえば安心です。

「この世の中で一番の名医は自分自身である」と言う言葉がありますが、体のちょっとした異常に最初に気付くのは自分自身です。定期検診の時には、異常と思った事は何でも相談して下さい。その事がすべての病気の早期発見、早期治療にむすびついてきます。

素晴らしい人生をあなたのものに かみしめる喜び編

歯科衛生士 瀬 口 聡 子



このテーマは、わが歯科医院のモットーで、私達は、少しでも患者さんの人生が素晴らしいものになるようにと

いう思いで、患者さんと接しています。

一人の患者さんがおもしろい切っ掛けで歯の治療をしたことにより快適な毎日を送られ、健康をとりもどしたことによって、何ごとにも積極的になり、まさに人生までもが素晴らしく変わっていったという症例を御紹介しました。

私の「8020」かみしめる人生

老いる個人として老いの本質をつきつめる

老人クラブ連合会会長 室 原 盈 祐



かみしめる人生とは、長い間生きて来た人間の苦難の歴史をふりかえり、その中にある事実を、一つ一つ掘りお

こし、じっくりと味わう事であり、その生きた体験の中からにじみ出た尊い人々の生命の生き方にふれる事であろう。

人間は生れて、そして時間と空間の流れの中に生きて行き、やがては死んで行く。ある哲学者は「人間は病気で死ぬのではない、生きているから死ぬのである」といった。この厳粛な人生をじっと見つめ、かみしめ、味わう時、どのような喜びが湧いて来るであろうか、科学者も哲学者も宗教家も、はっきりとそれを教えてくれるものはいない。只それは歴史の中に生きて来た人々の生活を、じっくりと、かみしめ、考える事の中からのみ生れて来る。私達は歴史と人間のかかわりの中か

ら多くの問題を知って来た。全人類の喜びを、個人と歴史との関係の中から、普遍的な人間の価値と喜びをどのように求めるか、今ははっきりと考える時であろう。

私も人生80をすでにこえた。私の人生の歩み方、心や体でかち取った人生観、生活観を基盤として、それぞれの個性的な生き方のしめくりが今来たように思う。老いる個人としての人間の立場から内省した老いの本質をつきつめようとしている。老いる、それは生物学的な概念であり、加齢によって起きる生物としての避け難い大自然の法則であろう、然しもっともっと老いを人間学的な概念でとらえ、命の本質を自然科学的でなく、人間学的にとらえ、生きる意義、生き方、生きる態度、いわゆる生きざま、つまり心の問題としてとらえ、生をどのように受けとめ、対応しようとするか、今こそじっくりとかみしめて見たいものである。

『在宅老人歯科診療』

— その歯科往診治療の現状から —

講 師 鈴 木 俊 夫 先生

(名古屋市守山歯科医師会公衆衛生担当理事)

には不可欠と説明される鈴木先生
早急なシステムの整備が老人医療



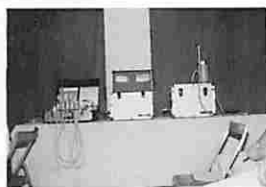
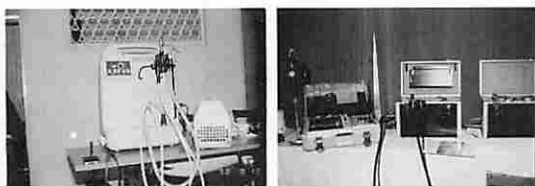
平成2年8月18日(土)午後2時より、歯科医師会館3Fにおいて、鈴木俊夫先生をお招きし、上記演題にて約3時間講演をしていただきました。講演には熊本市より田尻衛生部長はじめ、各保健所の先生方、保健婦さんなど行政の方々、及び衛生士会会長、各歯科医院のスタッフを含め多数の会員の参加の下、盛況のうちに行なわれました。講演に先立ち田尻衛生部長の挨拶の中で、在宅老人の実態調査において、その65%が歯科治療を希望しており、その対応として行政と歯科医師会の間で、訪問歯科診療の協議会を行なっていく必要があると述べられ、行政としても積極的に取り組んでいきたいとの事でした。

現在高齢化社会が進み、日本では既に1970年に高齢化社会を迎え、65才以上の老人が人口の14%を占める高齢社会が1995年に、20~21%を占める超高齢社会が2010年頃に到達すると言われており、高齢化社会から高齢社会

になるのに、日本では25年、フランスでは125年、スウェーデンでは85年と、日本における高齢社会へのピッチが最も早く、諸外国よりどの様な政策を取っていくのか注目を集めている。

鈴木先生は、在宅のみでなく、重度身体障害者の施設、特別養護老人ホーム、病院の長期入院患者等の訪問診療を多く行なわれているとの事で、スライドにより、寝たきり老人の口腔内の症例を多数あげられて説明された。在宅での歯科治療で考慮すべき点として、将来その人が通院できるか否か、全身状態の問題、応急処置だけを希望しているのか、補綴処置まで希望しているのか、介護者並びに家族の意見、主治医の意見、経済的問題、これらを事前に十分把握した上で、診療を開始しなければ、さまざまなトラブルを引き起こすと述べられた。又訪問歯科診療においては、ケアを主に置き、医療行為は応急処置的なものに限ることが必要で、抜髄、根治、クラウンまでやろうと考えると、医療事故に結びつく危険性を多分に含み、特にタービンで寝たきりの患者に使えば、水によって肺炎を併発し、死に至らしめる事にもなりかねないので、最少限の医療行為で抑える事。自医院での歯科治療の1/3~1/5程度と考えた方がよい

との事でした。



又寝たきり老人においては、全身疾患を有する者が多く、特に糖尿病、膠原病、パーチェット病、白血病、再生不良性貧血などには十分な注意を要し、事前に家族や主治医より現在の病気の程度を把握しておくと同時に、我々歯科医自身がこれら疾病に対する十分な医学的知識が必要とされると述べられた。又観血処置、特に抜歯を行なう場合は必らず、

入院させた上で行なう事が大事であると力説された。鈴木先生自身の訪問歯科診療のスライド並びに講演においてユーモアを交えてお話されたが、全身疾患を有する患者や、治療に不適当な住環境、介護者並びに家族とのかかわり、器具、器材の問題、歯科医師やスタッフの長時間に及ぶ拘束による不採算性など、実に多くの困難とリスクを含んでおり、我々会員が今後在宅老人訪問歯科治療を行っていくには、行政、衛生士会、保健婦協会、医師会と十分な協議を重ねていくと同時に、早急にシステムの整備を進めていかねばならないと痛感しました。又寝たきりになる前に、老人並びに家族に対する健康管理、健康教育の問題についても考えさせられる講演でした。

(学術委員 緒方敏克)

『歯 周 補 綴』

講 師 山 崎 長 郎 先生

(東京都新宿区で開業)



140人の参加者に対して歯周補綴について講演される山崎先生

去る9月29日土曜日、午後2時30分より、平成2年度第3回学術講演会が、台風20号の接近で風雲急を告げるあいにくの天気にもかかわらず、140名近いドクター及び技工士、衛生士の方々の出席を得て、県歯会館3Fホールにおいて開催されました。

今回は、テーマを「歯周補綴」とし、東京都原宿で御開業の山崎長郎（マサオ）先生をお迎えして、先生の多くの症例を交えながらテンポよく、大変楽しい講演を約3時間に渡

り、お聞きすることができました。

講演の要旨は、次のとおりです。

I. 歯周補綴治療とは

進行した歯周疾患の原因を歯周・咬合・補綴治療を通し除去し、健康な口腔状態を確立することを目的とし、長期的メンテナンスによってそれを維持していくことである。

II. 歯周補綴治療を成功に導く2つの基準とは、

1. 技術的基準

2. 臨床的基準 である。

2の臨床的基準とは、次の3段階からなる

①基礎資料の収集

患者からできるかぎりの資料情報を収集しておくこと。

⇩

②プロブレムリスト（問題点の列記）作成

つまり、①基礎資料の収集から浮び上がってくる疾病の状態と、その問題点のリストを作ることが、疾患を十分把握することとなる。

⇩

③総合的診断と治療計画の立案及び予後の予測

以上である。

1の技術的基準とは、治療を実際に行う時に必要となってくるもので、以下に列記する10項目である。

- ①炎症の抑制
- ②歯周外科へのアプローチ
- ③プロビジョナル・レストレーション
- ④支台歯形成と印象
- ⑤メタルフレームワークと鑲着指標

⑥モビリティとスプリンティング

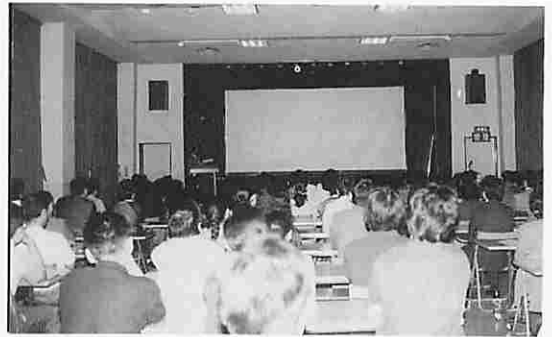
⑦咬合と咬合器

⑧歯牙移動と矯正治療

⑨審美クラウン

⑩欠損歯列への対応

尚今回の講演の限られた時間の中では、上記の内で②④⑤⑥をピックアップして述べられたので、以下にそれをまとめてみる。



歯周外科へのアプローチ

歯周外科を行う2つの目的

①炎症原因の完全な除去。つまり廓清的外科処置で、歯根、歯槽骨を露出させて明視野に置き、炎症により破壊された組織や壊死組織を徹底的に除去することである。

②歯肉、歯槽骨の形態修正による局所環境の改善や、補綴治療の前処置として行なわれる形成外科的な処置である。これは、歯科医側からも、患者にとっても、メンテナンスが容易となる歯肉溝の深さと形態を持つ歯肉付着部を作り出すことである。

次に、講演で何回も出てきた歯肉剥離搔爬術の中でも、Flap curettage with osseous recontouring の勘どころをまとめてみる。

I 切開線はまず浅く入れ、外形線が決まった後、目的に応じて深い切開を行う。術後歯肉弁に過不足のないようあらかじめ歯肉の切除量を想定して切開を行う。

II 歯肉弁はなるべく一定の厚みを（1～2mm）持たせる。特に歯間乳頭部は内斜切開を行い、なるべく薄い歯肉弁にする。

III 剥離は歯肉弁を破らないように注意し必要最小限にする。

IV 肉芽組織はなるべく一塊として取り、完全に除去する。

V 歯槽骨の削除はなるべく固有歯槽骨を保存するようにし、周囲の骨の連続性を考える。骨鋭縁は、残さない。

VI 縫合は歯肉弁を必要以上に緊張させない。

支台歯形成と印象

演者の勧める前歯部の支台形成は、切端部、唇面にパイロットグループを付与し、歯質を削除する。また、フィニッシュラインは、連続したスロープショルダーを与えるものでありました。

演者の勧めるハイドロコロイドによるウェットテクニック

この方法の長所は、歯肉を最小限度の乾燥で抑え湿潤状態で印象できる点であり硬化時間も短く、再印象も即時可能であること。欠点は、辺縁流入性が弱く確実に圧排が必要で、歯肉がタイトな場合エレクトロサージェリーが必要となる。

メタルフレームワークとロウ着指標

現在の埋没材、精密鑄造法の各ステップを正確に行うことで、かなりの適合状態を与えることができるが、各ステップでマイクロスコープを用いた精密なマージン部の適合を計れば、臨床的には、ほぼ完全なフィットが得られる。

各単冠自体の適合状態が良好であっても、ロウ着後の浮き上がりを防止しなければならない。これを解決するためには、口腔内試適時に必ずパターンレジンとワイヤーによる口腔内ロウ着指標を採得する。また、ジョイント部に強度が必要な場合は、前もって、ダウエルとキーを付与しておくとう有効である。

多数歯の前ロウ着は何ヵ所かに分けて数回ロウ着する。この時、ストレートな歯列は2ヵ所、3ヵ所でも変形しないが、弯曲歯列は最後にロウ着する方が、変形を防ぐ点で望ましい。

モビリティースプリンティング

1. クロスアーチスプリンティングの目的

- ① 歯列弓の保全
- ② 咬合圧に対する各支台歯の均等分担
- ③ 動揺性の収束
- ④ 歯牙近心移動の防止

2. クロスアーチスプリンティングが必要となる症例

① 多数歯欠損症例

咬合圧、動揺性に対応できるだけの支台歯数が不足し、全顎的固定が必要とな

る。

② 進行した歯周疾患を伴う症例

クラウン・ルート・レシオの劣化に伴い咬合圧負担、動揺性に対して不安があり全顎的固定を必要とする。

③ 矯正治療後の咬合安定と後戻り防止

矯正治療だけではなしえない精密な咬合付与と後戻り不安に対する為の歯列弓保全としての固定

④ 顎位の修正を伴う多数歯補綴症例

不適合補綴物等による顎位の偏位がある症例で、その修正の為の多数歯補綴が必要であり、全顎的に動揺が認められる場合。

⑤ ①～④の複合症例

3. クロスアーチスプリンティングにおける
キーアンドキーウェイの使用目的

① 動揺性の緩和

各支台歯の動揺性の相違を Key & Keyway の付与により緩和できる。

② 挿入方向への対応

前歯群と臼歯群の支台歯植立台方向の違いに対し、Key & Keyway の付与で、挿入方向を無理なく決定できる。

③ 咬合圧負担時の支台歯の保護

咬合圧負担時、おしなべて歯牙に近心移動が起こる。この時 Key & Keyway を各支台歯遠心に付与すると、前方支台歯を根尖側に押さえ込む力が発現し、前方支台歯の浮き上がり、離脱力を防止する。

4. クロスアーチスプリンティングをする場合、犬歯遠心部に Key & Keyway を付与

する訳

① 前歯部と臼歯部の境界にある。

② 技工操作が容易

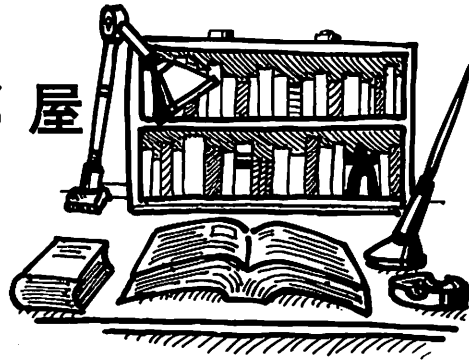
・ 歯冠長、歯冠幅が充分に有る。

③ 位置的に審美性が得られやすい。

以上が、今回の講演のあらましであります。全てにレベルの高い技術と知識に裏付けられたこれらの症例は、一見我々の日常の臨床と掛け離れたものように思えますが、その治療過程の一つ一つは全て基本に忠実で、決して妥協しないという姿勢の積み重ねに他なりません。我々の日々の診療においてもこの姿勢を大切に、各症例を慎重にかつ総合的に診断し治療していくことの重要性を強く感じた今回の講演でありました。

学術委員 西 野 隆 一

勉強部屋



総義歯問題点への対応(Impression surfaceを中心に)

学術委員 添 島 正 和

はじめに

無歯顎患者に機能、審美性を兼ねそなえた総義歯を装着して社会復帰（リハビリテーション）させた時の喜びは、私達歯科医にとって大変大きいものです。

しかし、逆に難症例にぶつかり、患者の期待が大きすぎた為に結果が思わしくない場合は、患者との信頼関係にひびが入り良いコミュニケーションが得られなくなります。

一口に総義歯と言っても、色々なバリエーションがあり、それぞれのケースに応じてテクニックを使いわけて対応していく必要があります。総義歯の色々な講習会に出席してテクニックを覚え、それを患者に実践しても、結果が悪ければ患者に満足を与える事は出来ません。印象一つとっても、基本に忠実に個人トレーを作り片顎1時間ほどかけて、筋圧形成並びに機能印象を行って作成した義歯が、いざ装着時に落ちてしまう経験はほとんどの先生方がお持ちではないでしょうか。

どこに問題があったのでしょうか？

又、総義歯ほど結果がシビアに出て患者の評価が別れるものはありません。それ故、総義歯の講習会は全国津々浦々、花盛りでそれだけ先生方の悩みの種になっていると思われます。

私も大学卒業後、納富先生、河辺先生、阿部先生、山本為之先生等の総義歯のコースを受けていろいろ実践しましたが、保険医である私にとって、時間がかかり、複雑なテクニック（特に印象法）は、いくら良い方法であっても臨床に取り入れられませんでした。

私は誰にでも出来て容易に少ない時間と労力で最大の効果をあげる事を目標に総義歯の省力化を行ってきました。今回、私なりにアレンジした考え方を症例を通して発表させていただきます。

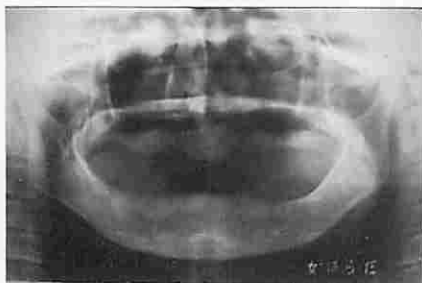
総義歯には

- ① Impression surface
- ② Occlusal surface
- ③ Polished surface

の三つの面 (surface) がありこれをいかに適合した形で作りあげるかが成功の鍵です。

◎印象採得の前に必要な診断

- ① X-ray、パノラマで骨の状態、埋伏歯の有無、骨隆起オトガイ孔の位置の正確な観察を行う。



- ②イ) ラフビーガムの有無

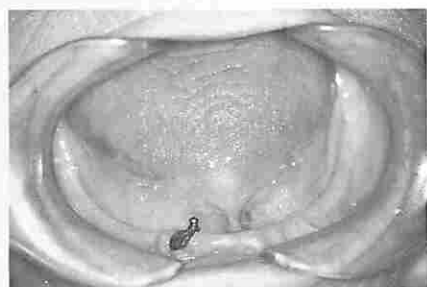


- ロ) 粘膜の上から指で触診して疼痛部がないか check する。一疼痛部は X-ray を取り、埋伏歯の抜歯や骨整形、骨削除を行う。



- ③ 唾液の性状→義歯の吸着に関係がある。
④ 全身的疾患の有無→将来顎堤の変化が予想される。
⑤ 舌の姿勢→下顎義歯を持ち上げる原因になる。



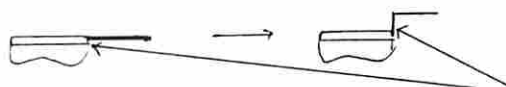
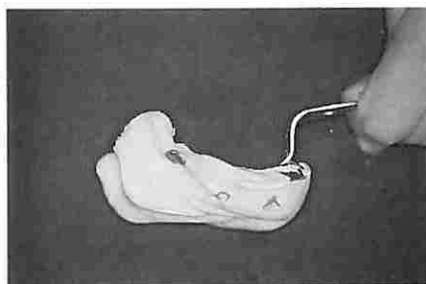
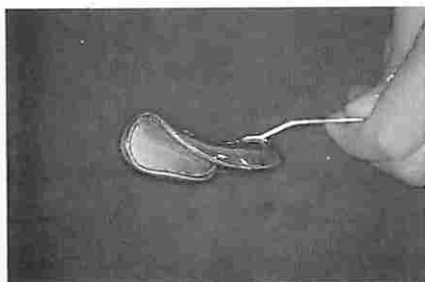


- ⑥ 旧義歯を印象し、模型を作成し、その状態（良い点・悪い点）を良く観察する。



Impression Making

Caulk の無歯顎用 Rim-Lock Tray を改良して使用する。



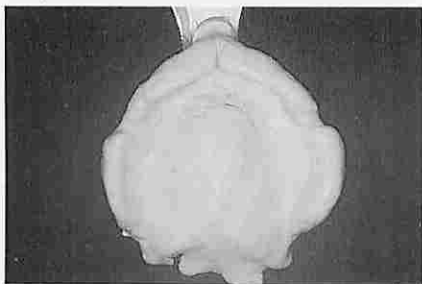
このまま使用すると上顎のトレーが安定しない事がある

この部分をプライヤーで次のように曲げる。口唇の動きをさまたげない為

- ① 顎堤の最も良い状態

症例





- 診断 {
- a 顎堤の断面形態がU字型
 - b 顎堤粘膜の被圧縮度が均等に緊張
 - c 歯槽骨面が滑らか

以上の様な診断の得られた顎堤において既製トレーによる印象操作によって義歯床は安定する。

② Caulk の無歯顎用 Rim-Lock Tray を試適した時落ちなくて、はずす時に抵抗があるケース



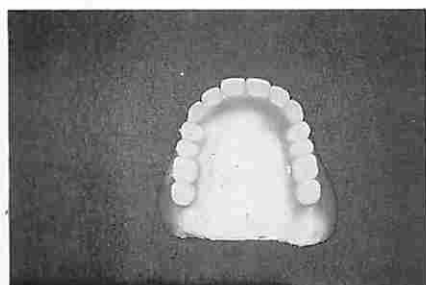
印象法

Caulk の無歯顎用 Rim-Lock Tray + アルギン酸の印象でトレーの十分な試適を行い、アルギン酸用のシリンジを使い、気泡の出来やすい部分にアルギン酸を注入してトレーを定位置に納め、大開口をさせる。その後トレーを指でもったまま閉口して咬合してもらう。その時、閉口出来ない様に指で抵抗するのがコツです。そうすると充分咬合圧が加わった印象採得が可能であり口腔周囲筋の機能時の印象がとれる。

上顎の場合は下顎を2～3回左右に振ってもらい、軽く顎部、口唇部を皮膚面から筋圧形成をする。その時に強く口唇等を引っばらない。これで小帯、筋肉等が印象面に印記されたきれいなアルギン酸の印象が採得される。この後印象面を評価して、もし気泡やトレーの金属の部分が出ていたならば直ちにアルギン酸の二重印象を行う。要するに最初にとった印象を個人トレーとして使用するものである。はみ出た部分のアルギン酸をナイフでカットして少し柔かめのアルギン酸をトレーの上に再び盛り、口腔内に位置を確認して挿入する。

この印象法で私の臨床では総義歯の約70%位のケースが対応出来ます。(裏をかえせば個人トレーを作る必要性がないと言えます)

もし、咬合採得、試適時に印象の不安があれば、試適時、仮床面にソフトライナーを盛り、咬合圧印象を行います。



その時フィットチェッカーで辺縁のシールをチェックしてシールが弱ければイソコンパウンド、インプレッションコンパウンドで筋圧形成し、辺縁のシールをしソフトライナーで咬合圧印象を行います。

ソフトライナーを印象材として使用する訳は今までインプレッションペーストチオコールラバー、シリコーン、モデリング等

を使ってみて私にとって一番使いやすく失敗が少なく、短時間で出来るからです。残りの20～30%のケースでは通法に従いアルギン酸印象で stady model を作りそれで個人トレーを作りボーダーモルディングを行い、機能印象を行っています。印象材はソフトライナーかフローの良いキサントプレインブルーを使用しています。

なおかつ試適時に思わしくなければ咬合圧印象を行っています。この方法で95%位のケースがマネージ出来ると思われます。

紙面の都合上中途半端になりましたが、機会があれば ③ Polished surface ② Occlusal surface について述べてみたいと思っています。

おわりに

我々は総義歯が1つの道具としてではなく、患者にとってかけがえのない1つの臓器として機能するよう真摯に、いたわりの精神をもって治療にあたるべきである。また総義歯を対象とするのではなく、その臓器をもった“人”を対象とできる People Dentist を目指し努力を続けなければならない。

お 知 ら せ

● 社保委員会

寝たきり老人在宅診療については症例および保険請求上の留意点等について別に小冊子を発行しております。

● 厚生委員会

平成3年の新年パーティーの日時が決定しました。

日 時：平成3年1月19日(土) 午後6時～

場 所：ニュースカイホテル

先生方・ご同伴の方の多数のご出席をお願い致します。

家 族 紹 介

《私のステキな!/?旦那様》

杉 野

さえ
冴(市常務理事夫人)



①病院・医院名・住所

杉野歯科医院

熊本市春日2丁目13-3

②家族構成

主人 陽二郎(49歳)

私 冴 (41歳)

長女 慈子(20歳)(日本体育大学3年)

長男 東生(18歳)

(グレイス学園で受験勉強中)

③結婚年数

21年目

④恋愛それとも見合い?

知り合い結婚

⑤交際・結婚のきっかけは?

主人が私の実家へ勤務、私も衛生士として手伝っていたので

⑥新婚旅行はどちらへ行きましたか?

グアム島プラス箱根

熊本から観光旅行で行くのは当時めずらしく色々知るのに大変苦労しました。
日本からの出発は成田空港のみでそれも週に一遍、夜中の12時頃でした。

⑦結婚なさってからの一番の思い出は?

新婚旅行のグアム島

⑧奥様、子供様からみた御主人の点数(100点満点で)

私 90点

子供達 多分100点でしょう

長所 掃除、洗濯、買物など何んでも自分ですること

短所・無口

・酒が飲めないこと(私は仕方無しに一人で飲みに出ています)

⑨言いたいことや、やってほしいこと

グアムが今はどんなになっているか、いつかまた行って見たいといつも主人にいつているのですが?

老後一人になった時のことを考えて、料理を作るのを覚えて下さい。

富岡 和子(県医療管理理事夫人)



①病院・医院名・住所

富岡歯科医院
熊本市川尻町21

②家族構成

主人 浩 雄(49歳) 私 和 子(46歳)
長女 美 江(22歳) 次女 千花子(18歳)
長男 大 高(16歳) 三女 美 希(13歳)
母 久女子(77歳)

③結婚年数

23年

④恋愛それとも見合い?

見合い

⑤交際・結婚のきっかけは?

知り合いに紹介され、やさしそうで、この人ならばついていけそうだと思い結婚しました。(と聞いたのは今日が初めてです。娘)

⑥新婚旅行はどちらへ行われましたか?

長崎・雲仙

⑦結婚なさってからの一番の思い出は?

私の入院中、食事の用意など家の事をしてくれて感謝しています。(良かったねお父さん…♡)

⑧奥様、子供様からみた御主人の点数(100点満点で)

私 80点ーあと20点はこれからの期待度
子供達 60点ーお仕事毎日ごくろう様です。でも少しは家で家族団欒の時間が増えればいいなあ…そうすれば100点間違いなし!

長所 優しくて、人からたのまれた事や世話はよくする(一種の世話好きかもしれません)

短所 新しいものにすぐ飛びつく割に、短期間である(お金はいくらあっても足りません)(でも我慢するときは、とことん我慢!)年とともに小さいことにも口うるさくなってきました。

⑨言いたいことや、やってほしいこと

一年に一度は家族旅行に連れていってもらいたいです(妻)。人間ドックに是非、今すぐに入って、健康管理をして下さい。自分一人の命ではありません(家族一同)。無理だとは思いますがお酒もとは言いません、煙草だけでも減らして下さい。お父さんのお腹の中が心配です(娘①)。お金を貯めて無駄使いをやめ、私に新しい自転車を買って下さい(娘③)。

《一口メモ》

ー 県名の由来 ー

○福岡県

福岡市は城下町地区を「福岡」、商業地区を「博多」という。博多のほうが地名では古い。福岡の名は黒田氏ゆかりの地、備前福岡にちなんでいる。

甲斐優子(県医療対策理事夫人)



①病院・医院名・住所

甲斐歯科医院

熊本市帯山4丁目3-18

②家族構成

主人 利 博 (48歳)

私 優 子 (43歳)

長女 佳 子 (20歳)

次女 庸 子 (18歳)

三女 博 子 (13歳)

③結婚年数

21年

④恋愛それとも見合い?

恋愛です。

⑤交際、結婚のきっかけは?

主人の押しの一手!!

⑥新婚旅行はどちらへ行かれましたか?

南紀、白浜

⑦結婚なさってからの一番のよい思い出は?

台風の中、黒川でキャンプ。

⑧奥様、子供様からみた御主人の点数(100点満点で)

妻 ?点。子供から 赤点

長所 やさしい。

短所 短気で、わがまま。

⑨言いたいたとや、やってほしいこと

子供達が、大きくなるにつれ、やさしいお父さんに変身しました!!でも、たまに家に居ると、娘達から「今日は出かけるの?」と云われる仕末です。ぼちぼち、「健康管理」に気をつける年齢に、近づいています。ムリをせずに…!!

これから、自分1人だけ楽しむのじゃなくて、ほんの少しでも、家族全員で楽しむ事を忘れないでネ…。だって、まだ、お父さんと一緒にどこへでも出かけたいと思っている私達ですから。お父さん、頼りにしていますよ!!

○佐賀県

鍋島氏の城下町佐賀は市内を縦横に水路が走る水の町である。水辺の砂洲を意味する「ス力」が「サガ」と訛って「佐賀」の字をあてたと思われる。

○長崎県

江戸時代に日本唯一の外国との貿易港として栄えた長崎も、開港以前はさびしい漁村だった。開港者・長崎甚左衛門の姓にちなんだ県名である。

○熊本県

「クマ」は「コマ」の訛りであり、高句麗人たちの土地を指す。「コマモト」、すなわち高句麗からの渡来人たちの本拠地という意味であらう。

牧 野 充 子(県学術理事夫人)



①病院・医院名・住所

牧野歯科医院
熊本市水道町4-27

②家族構成

主人 敬 美
私 充 子
長男 玄 幸(高校2年生)
次男 正 敬(中学2年生)
母 敬 子

③結婚年数

19年

④恋愛それとも見合い?

恋愛

⑤交際・結婚のきっかけは?

先輩の先生と一緒に私の家に来て、父と意気投合したのが、きっかけです。

⑥新婚旅行はどちらへ行かれましたか?

沖縄

⑦結婚なさってから一番のよい思い出は?

家族でハワイ旅行をしたこと。

⑧奥様、子供様からみた御主人の点数(100点満点で)

私 97点(耳が遠くなったので、大きな声で話さなければならぬ分マイナス)

子供達 95点

負けず嫌い。剣道の試合に負けた日は一晩「くやしい」の連発。あくる日に持ち越さないのはよいのですが、翌日から次の試合に向けての練習が始まります。

⑨言いたいことや、やってほしいこと

魚採りや、竹の子掘りの時の格好は、まさに白衣より“さま”になっています。前世は何をしていたのでしょうか。好きなことがいつまでも出来るよう剣道で鍛えた身体を過信せず、お酒を控えめにして下さいね。

○大分県

大分平野は古くから開けた土地である。デルタ地帯に広がる水田を指して、「大き田」「オオイタ」と呼ぶようになったらしい。

○宮崎県

「ミヤ」には原野の意味があり、ミヤの先、原野の先端の意味で「ミヤザキ」となった。また、宮崎神宮の鎮座する土地の意味とも考えられる。

○鹿児島県

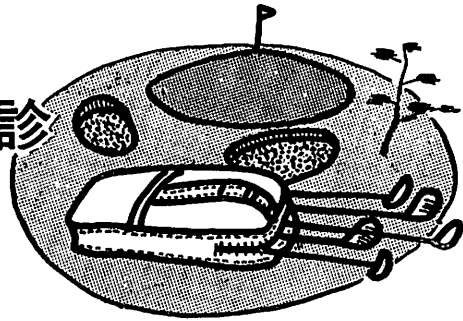
鹿児島は、桜島の古地名。「カゴ」はがけの意味で、四方にがけをめぐらした桜島の岬々たる姿から、「カゴ島」と名づけられた。

○沖縄県

「オキ」は海、「ナワ」は「ナニワ」の詰まった形である。「ナ」は魚、「ニハ」は場所を意味するから、「魚のたくさんとれる海」ということだろう。

—日本語がわかる本(日本社)より—

本日休診



ヨーロッパを訪ねて

岩村 泰行

1990年5月18日、春雨が音もなく静かに庭の木の葉を湿らしている。予定より少し遅れて妻と2人で熊本空港を発つ。成田の近くのホテルで長女、幸子と一緒にいる。翌19日10時20分ホテルを三人で成田に向けて出発、出国手続き及び両替を済ましていよいよエールフランス13時15分離陸。成田を出て8時間半、太陽を西に追いかけて、いや太陽を追い越して日が没することとなり、ソ連モスクワ近くを飛ぶ。いまごろ日本ではデスクに向かって原稿を書くか絵を描いているかそれとも床の中か、ちょうどゴルバチョフの頭の上を飛んでいる。無重力感を除けばあたかも宇宙船かのようだ。1時40分無事にパリー空港に着陸。パリ時間午後6時40分。この間所要時間12時間35分、フランスの土を踏む。先発していた友人と会い、互いに無事を喜び合う。

〈花の都パリ〉

パリ、世界の大都市、花の都パリ。しかし思ったより地味。高層ビルが林立するニューヨークとは対照的。これが第一歩を印した印象である。建築物の高さ、色、看板、ネオン、

等規制されているとのことである。したがってケバケバしい看板やネオンは見当たらない。台湾、香港では中国的に大げさがやたらと目についたのとは好対象である。また5階以上の建物も少なく1、2階は通りに面した所はいろんな店が軒を連ねているが、その上はほとんどアパートになっている。香港のアパート群では窓からつき出た洗濯もののオンパレードであったが、ここではそのようなものは一切見当たらない。屋根の上に4、5個、植木鉢を一行にまとめて並べたようなものがあったが、これは皆煙突。道巾は広く、マロニエの並木道、また建物の壁面のいたるところに彫刻やブロンズ像。窓辺にはゼラニウム?の色とりどりの花々でロマンチックな雰囲気である。道行く人々も意外と地味で日本とあまり変わらない。シャンゼリア通り、コンコルド広場、エッフェル塔、凱旋門、通りを横に入ると広大な庭園、公園があり、緑の大木の間に銅像が燦々と降りそそぐ春の陽を浴びて静かなたたずまいの中にある。ノートルダム寺院の内外共に荘厳で素晴らしく、目

を見張るような構造美。欧州におけるキリスト教の偉大さ、力というものを見たようだ。オルセー美術館へ。かつての駅舎を改造されたものと聞くが、建物そのものが一つの芸術、美術品でありまた内部も美術的であることはもちろん、機能的な構造となっており、単なる美術の展示ではない。世界一流の美術、絵画、彫刻、工芸に直に触れることができた。

夜はディナーショー。7時30分開演オーケストラの生演奏が始まり、やがてワルツの調べに乗って客がステージ前の半円形の空地？に出て踊り出した。それが終わるといよいよ本番。息付く間もないほど順次素晴らしい催物が始まった。先程客が踊っていたところはセリで、何度も上下する。なかには氷面上も上がって来てスケートのアクロバットあり、豪華絢爛たる出し物、光の交響曲。さすが芸術の都、花のパリである。エッフェル塔には直接行きませんでした。が真正面から見た塔、裏からまた横からと表情は様々、いいですね。ここパリではごみや塵や煙草の吸い殻等少ないが、しかしところどころ散在していることではあまりやかましくないとのことであった。ここでは市の清掃員が巡回清掃しているとのこと。カナダに行ったときは所謂「トイレ」なるものがなくて困った人もありましたが、ここパリでは町の随所に公衆トイレがありました。但し有料とのこと。翌21日朝から小雨模様、一日中ショッピング。あちこち店を覗いて回りましたが、物資は豊富で安定しているように思われました。春雨けぶるパリの町、落ち着いた家並み、並木道、店先にビーチパラソル、赤やピンクの花々、やがて小雨も止

み、とあるレストランで昼食。街角でふと若い恋人の愛のシグナルの交換風景。ロマンチックな一時でした。

〈新幹線でスイスへ〉

一日を楽しく過ごし16時、再び小雨降る中リオン駅へ明るいオレンジとグレーのツートンカラー17時40分発のパリ新幹線に乗り込む。



パリージュネーブパリ新幹線

ワインレッドのカーテン、ゆったりした席、いよいよ楽しかったパリを後にする。日本なら麦秋、即ち色づいた麦畑かまたは水田であろうが、広々とした若草色に輝く草原？よく見ると麦畑であるその中に思い出したように赤い屋根の農家が点在。小さな村、小さな町。まるでオトギの国を走っているようだ。

次第にスイスに近づいて来たとみえて丘陵地帯に入る。麦畑の中に葡萄畑が点在する。談笑にふけり、飲んだり喰ったりしているうちに21時11分スイス、ジュネーブに静かに滑り込む。この間3時間30分。いつ国境をこえたのかまったく気づかなかった。途中やや山が多くなったのでスイスに近くなったかなと感じた程度である。駅に奥村ガイドが迎えに来てくれ、専用車でレマン湖畔のホテルに着く。湖面には大噴水が中天高く噴き上げ我々を歓迎しているようだ。21時であるがまだか

なり明るい。レマン湖に陽は沈み対岸のネオンが美しく湖面に瞬いている（ネオンはここだけのようでした）。

朝からホテルの前の通りを湖ぞいに散歩。水上レストラン、その船体が朝日を浴びて静かに浮かんでいる。広い公園にでる（エリザベス公園）ベンチに腰を下ろしている人、せわしく足を運んでいる勤め人、ジョギングを楽しんでいる人、朝から公園を清掃している清掃員。

〈アルプス〉

22日朝7時、専用車でアルプスに向かって出発。スイスというと山や湖をすぐ連想しますが、ジュネーブからアルプスの山麓までは広々とした田園風景でパリー近郊によく似ている。一面若葉色の広々とした麦畑の中を時速約130kmで高速道路をつっぱしる。よく晴れていて雪をいただいたアルプスの峰を望遠しながら走る。途中湖畔のレストランで昼食。雪をいただいた山々が湖面に静かにその影をうつし、あたりはあくまでも澄み切っている。綺麗だ。ここでスイスの教育制度や徴兵制度などガイドから聞く。かなりのんびりした教育制度のようであり、また中立国ではあるが若者は一定期間兵役につくとのこと。一息して再び車を飛ばす。やがて登山電車の始発駅に着く。ジュネーブからここまで日本の東京、大阪間に相当するそうである。眼前に世界の最高峰の峰々がつらなっている、登山電車の始発駅に着く、大勢の観光客とともに右に左に大自然の中をゆっくりした速度で登っていく、途中乗り換え駅に着く。ここで簡単な食事をする。日本を発つ前に観光業をしている

友人から、アルプスの上にいったら急いだり走ったり、またアルコール類は控え目に、高山病になる恐れがあるから等の注意を聞いていた。ふたたび電車で登っていく。山際を縫うようにしていく。やがてトンネルを通る。トンネルの所ところに横穴が穿っており、採光、換気を兼ねてここからも電車をおりて展望できる。かなり長いトンネルであるが途中さほど長さを感じない、やがて終点に着き、ここから展望台に出た。青い空、雪をいただいたユングフラウヨッホ（それぞれの山の継ぎ目の平らになった間の肩の部分）ヨーロッパの最も標高の高い駅そのまた上の地点に立って居る。アルプスのユングフラウ（4158m）モエンヒ（4099m）アイガー（3970m）の巨峰を眼前にする。展望所の望遠鏡でアイガーを観察している人々、そのなかの一人が「アッあそこに人が登っている。」と叫んだ。なるほど鉛筆でついた程の黒い小さな点が4つ僅かではあるが動いている。まったく寒くなく嘘のようである。話しによるとこんな好天はめったに無いとのこと。突然自家用小型ジェット機が山腹をかすめるように飛来し飛び去った。一同アイガーを背にして記念のシッターをきる。空気は澄み、太古の雪をいただき春の光に眩いほどに輝いているアルプス。地球のもっとも高いところ。太陽にもっとも近いところ。感激で一杯のひとときであった。小さな黄色い花が地面をおうようにいっぱい咲き乱れ、所々に紫の花、中天高く空を刺すように木々、朽ちた折れた木。溪谷あり、その背景に青空の中にそびえるアルプス、絵のようである。後ろを振り返り別れを惜しみつつ

山を下る。再び高速道路を飛ばして20時ホテルに帰りつく。

〈ウィーン〉

23日9時25分、空路、ウィーンへ、空港からホテルへ、1日中市内を見て回る。ここも中世紀の面影を残す静かな町である。夕食後、市民公園に出かける。広々とした緑に覆われた公園の中に中世風の公会堂その前に樹木に囲まれたステージ。ステージの前には机、椅子そしてピーチパラソル。やがてステージで弦楽四重奏がワルツを演奏しはじめた。さすが音楽の町ウィーンである。女子高校生らしい女の子数名による合唱とダンス。やがて市民や観光客を交えてウィーンナーワルツの調べにのってステップを踏む。我々もあつましく、その群れの中に溶け込む。若者あり年寄りあり、皆が一緒になって音楽を楽しんでいる。24日ホテルの食堂で原田議員とお会いする。奥村ガイドの案内で専用車で市内を回る。シュテファン大寺院、パリのノートルダム寺院に勝るとも劣らない壮大かつ荘厳な寺院である。ゴシック風であり、またバロック調でもあり、見事に調和され、オーストリア国民の神に対する敬虔な気持ちの象徴であろうと思いました。またウィーンの象徴ともなっている137mのシュテファン塔はカメラに収めきれませんでした。シェーンブルン宮殿、広々とした緑の庭園を通り次第に横に広がった壮大な建物が近づいて来る。フランス風でもあり、ローマ風であり、またギリシャ風でもある。とにかくこれらをミックスしたような豪壮な建築物である。中に入ると落ち着いたなかにその豪華さを誇っていた。壁一杯に描

かれた皇帝はじめ各人物画、出来事を描いた絵、巨匠たちの素晴らしさ。現在のように写真のない時代、忠実に表現されている。豪華な家具調度品、順次各部屋を見てまわったがなんだかこちらも王侯貴族になったような一時であった。次はウィーンの森へと足をはこんだ。日頃ウィーンの森と何気なく聞いていたが、意外にもオーストリアにとって重要なところであったことが判った。静かな山と言うより丘といった感じ。古風な教会、レストラン。ここで食事。観光客で一杯である。窓の外にウィーンの町を眺めながらワインを傾け食事をする。食後の散歩をかねて小高い丘陵の閑静な別荘地を思わせるベートーベン之家に立ち寄った。この静かな恵まれた環境の中でこそ数多くの名曲が産み出されたであろう。



ウィーン、ベートーベン之家にて

25日、ヨーロッパともお別れ、朝食後9時、友人共々車で空港へ11時25分、オーストリア航空機はヨーロッパの地を離れ一路日本へ向かって飛び立った。行きにはモスクワの上空を飛んできたが帰りには、モスクワに着陸、

寄港、これには驚き予想外であった。

〈ヨーロッパを旅して思うこと〉

結論から申し上げれば、ヨーロッパは民主主義、自由主義が確立されていると言っているのではないのでしょうか。即ちアメリカが青年であれば、ヨーロッパ諸国は大人の国。過去において幾たびか侵略したり、されたり、権力の抗争を繰り返して来た十字軍の遠征、ナポレオンの遠征、ソ連の侵略、近くは第一次世界大戦、第二次世界大戦等である。また宗教の力も見逃せない。かつて日本においても比叡山の僧兵など、宗教や軍事力がその国を結果的には危機に陥れたことがあった。このようなことから欧州では早くから政教分離が叫ばれたのであろう。現在日本における政教分離とは根底から異なるような気がします。各地に壮大な教会や王宮が幾多の戦火にもか

かわらず見事に残されている。これはかつての権力と富を誇示するとともに戒めの象徴を世界にまた子孫に示しているのではないのでしょうか。ガイドが塵を捨ててもかまいませんか、ここでは信号は無視されているとか言っていたが、塵を捨ててよいから捨てて良いではなく、自然あるいは故意でなければと言うことであり、信号でも自然発生的に守られている。もしことごとく無視されれば当然の事ながら交通事故は際限なく多発するであろう。真のデモクラシーとは、自由とは何かを改めて考えさせられる。

ソ連はペレストロイカ、東欧諸国の民主化の風。日本も対岸の火と見ないで充分考える時ではないのでしょうか。いい旅しませんか？お蔭様で一生のいい思い出の旅をさせていただきました。

ヨーロッパを旅して

岩村 泰行

うたた寝の時を過ごして、目覚むれば

成田、パリ―ひとまたぎ

(成田―パリ、フライト)

エッフェル塔、高いばかりが能でなし

四つ足ふんばり我を迎える

ノートルダム、ステンドグラス 輝けり

聖者の祈り、永遠に安らか

ノートルダム、観光客の堂に満つ

十字をきりて共に祈らん

歴史の重みひしひしと

明日をみつめてノートルダムは

草原とまごうがとき 麦畑

赤い農家の色添えており

太古の雪をいただけるアルプスは

静かにありて 天にそびえる

あめつちのはざまにありぬ アルプスに

我 今ここに立ち 天を仰ぐ

宮殿に足を運びて たたずめば

王侯貴族としはしなりおる

(ハプスブルク王宮―ウィーン)

支部便り

暑さの中での人吉慰安旅行

東部第Ⅱ支部 永 野 忠



新入会員2人を加えた東部第2支部の宴会

8月4、5日の両日わが東部第2支部は、恒例の慰安旅行を行なった。今年は高速道路が開通し、非常に近くなった人吉が目的地となった。今年開業した2人の先生、西濱先生、岩井先生を含め14名が参加された。

当日は県庁東門に集合後、車5台に分乗して一路人吉へと向かい、1時間余りで宿泊予定の鮎里ホテルに到着した。旅の汗を温泉で流した後、楽しみな宴会へと移った。まじめな会員ばかりなので、カラオケなどの馬鹿騒ぎはせずに宇治支部長の現在の歯科医師会の情勢、問題点などを静かに聞きいった。しずかな宴会の後、各人人吉の夜の街へとくり出した。

翌日はゴルフ組と人吉観光の二班に分かれた。ゴルフは人吉チサンクラブで、暑さの中での熱戦をくりひろげた。観光組は人吉城跡、

クラフトパークをまわり三田屋でおいしい昼食をとり帰途についた。

8月の暑さなかで、ゴルフ中に気分が悪くなる人もでるのではないかと危惧したが、全員無事に18ホールを終わったことが何よりだった。さあ来年は外国へと行きましょう！

ちょっと一口メモ

ことばのルーツ①

「打ち合わせ」

仕事の上で欠かせないことばになっています。意味は「前もって相談しておくこと」ですが、ルーツは雅楽の合奏をすることからきています。

雅楽の管弦合奏などをするには、笛やヒチリキ、笙などと打ち物（太鼓や鉦）とのイキが合わねばうまくいきません。

つまり、音合わせが必要なわけです。この音合わせをすることを「打ち合わせ」と呼ぶわけです。

あくまで、イキを合わせることが、「打ち合わせ」の目的であり、かたくなに自分の意見を押し通そうとするのは、本来の意味からはずれています。

第1回中央支部ボウリング大会

中央支部 秋 山 清

8月25日（土）午後3時30分より、大劇会館ブランズウィックスポルト熊本に於て、第1回中央支部ボウリング大会が行われました。

当日は、夏休み最後の週末とあって約60名のデンタルファミリーが参加され、かなりの盛況ぶりでした。

斉藤支部長の開会挨拶、奥村大会委員長の競技説明に続きゲームがスタートすると各レーンに歓声が沸き上がり、日頃のストレスを大いに解消されていました。



さて、本大会は第1回大会とあって、女性子供にも上位入賞が狙えるよう、男性スクラッチ女性子供HD30ピンの2ゲームトータルピン方式で争われました。

又、賞品も多数用意され、特に本大会の為に作られた支部長杯を獲得するため、各医院とも熱の入ったプレーが展開されたようです。



結果は個人優勝がHD差をものともせず、5連続ストライクを含むプロ顔負けのスコアで斉藤歯科の米沢さん（技工士）又団体でもその米沢さんを配する斉藤歯科が川崎歯科を抑えて優勝されました。

ゲーム終了後、パルコ屋上ビアガーデンに場所を移し、表彰と親睦を兼ねてビアパーティーが開かれました。表彰では、参加者中最年長の元島先生がガンバッタで賞を貰われて「もうこんな年になったのか」と苦笑いを浮かべておられました。途中、ゲームに参加できなかった菅原先生もお越しになり、一段と盛り上がり、過ぎゆく夏の日を惜しむかのようジョッキを片手に9時過ぎ迄笑顔が絶えぬ1日となりました。

委員会対抗ゴルフ大会

社保委員 松本 光 示

暑さも多少緩み始めた9月24日第1回熊本市歯科医師会委員会対抗ゴルフ大会が東南レークカントリークラブで行なわれました。当日は7:00集合という早朝の為、睡眠不足で寝ぼけ顔の人、二日酔いの人ありで、ウェット、ウェットという声もチラホラ…。

大会に先立って関専務の挨拶の後、中根会長、山室監事の始球式があり、曇り空の下8組が各委員会の威信をかけてスタートしました。



しかし最終組がスタートすると同時にスコールのような雨と風ですさまじいゴルフになりましたが、そこは好き者達の集まりで、ずぶぬれになりながらも前半のプレーを終えました。

後半はみんなの願いが天に届いたのか太陽が顔を出し、今度はむし暑さの中無事終了。

皆さん御疲れの様子でしたが楽しい一日でした。さて注目の団体戦は予想に反して(?)医療管理の優勝でした。以下成績は次のとおりです。(参加30名)



団体戦(ダブルペリア)

(上位3名のトータル)

1位 医療管理(219.8)	5位 厚生 (228.6)
2位 社保 (221.2)	6位 学術 (231.0)
3位 口腔衛生(224.0)	7位 学校歯科(255.2)
4位 広報 (227.0)	

個人戦(ダブルペリア)

		TOTAL	HDP	NET
優勝	松本(光)	76	6.0	70.0
2位	尾上	95	22.8	72.2
3位	松本(真)	94	21.6	72.4
4位	添島	81	8.4	72.6
5位	有吉	92	18.0	74.0
B.B	矢毛石	121	33.6	87.4

ドラコン 稲葉、忽那
ニアピン 添島、古賀、奈良、尾上

広報、口腔衛生、医療管理、学校歯科 合同研修会及びゴルフコンペ

学校歯科委員 合 沢 康 生



9月22日、23日にかけて、広報、口腔衛生、医療管理、学校歯科の合同の研修旅行が行なわれた。

昨年までは、広報、口腔衛生、医療管理の3委員会合同懇親会であったが、今年はどういう訳か学校歯科が加わり、4委員会となり参加人数も大幅に増加した。執行部より中根会長、山室監事の参加もあり大変にぎやかなものになりました。

目的地は人吉チサンホテル及び人吉チサンカントリークラブで、「22日(土)午後7時よりの夕食に間に合う様に集合」との事であった。会食時、翌日のゴルフの説明があり、団体戦は上位3名のストロークプレーの合計でハンディはダブルペリア方式、賞品は優勝チームにビール券120枚、という事であった。(昨年の優勝チームは口腔衛生チーム)

個人戦はオフィシャルハンディという事であった。(昨年の優勝者は谷川貞男先生、グロ

ス83)

賞品も各理事が苦勞していかに安くても高そうに見えるもの、形が大きいもの、利用度の大きいものを自腹を切ってそろえられたようで、なかなか大変だな、と思った。夕食後各々中国語の勉強、歌の練習、エンドペリオの勉強等で夜遅くまでにぎわった。翌23日(日)は朝6時に起床して、朝食後人吉チサンカントリー倶楽部にてゴルフコンペを行なった。

結果は下記の通りであった。

個人戦

1位	合沢康生(学歯)	45	45	90	22	68
2位	有吉 洋(口衛)	46	44	90	22	68
3位	奥田良樹(広報)	46	55	101	28	73
4位	奈良健一(広報)	46	45	91	18	73
5位	寺島美史(広報)	58	54	112	36	76
	B.B 忽那博雅(学歯)	68	62	130	36	94

団体戦

1位	口腔衛生	228.2	ストローク
2位	学校歯科	228.6	〃
3位	広 報	243.2	〃
4位	医療管理	248.6	〃

新 入 会 員 紹 介



1. 氏 名 上別府 敏 之

2. 住 所

(自 宅) 熊本市水前寺 4 丁目 20-18-101 T E L 096-385-6615

(診療所) 熊本市水前寺 6 丁目 10-30 T E L 096-382-5355

3. 生年月日 昭和 28 年 1 月 2 日

4. 趣 味 旅行、ジョギング

5. 好きな言葉 誠実

6. 経 歴

S 47 年 3 月 鹿児島県立鶴丸高等学校卒業

S 47 年 4 月 九州大学歯学部入学

S 53 年 3 月 九州大学歯学部卒業

S 53 年 4 月 福岡歯科大第 1 保存科入局

S 54 年 4 月 九州大学歯学部第 1 保存科入局

S 57 年 10 月 三菱重工業(株)下関造船所病院歯科勤務

S 60 年 10 月 自衛隊福岡地区病院歯科勤務

S 63 年 4 月 中富歯科医院(福岡市)勤務

H 1 年 10 月 同上退職

7. 家族構成

なし



1. 氏 名 大 川 智 弘

2. 住 所

(自 宅) 新大江 3-14-44 T E L 096-384-0308

(診療所) 帯山 1-17-14 T E L 096-382-2224

3. 生年月日 昭和 37 年 1 月 10 日

4. 趣 味 ラグビー、飲酒

5. 好きな言葉 豪胆細心

6. 経 歴

S 52 年 3 月 帯山中学卒

S 55 年 3 月 熊本高校卒

S 55 年 4 月 九州歯科大入学

S 62 年 3 月 " 卒業

S 62 年 片山歯科勤務

H 1 年 8 月 " 退職

H 1 年 10 月 大川歯科開設

7. 家族構成

父：雄 平：(株)RKK熊本放送勤務(S 11 年 9 月 29 日生)

母：洋 子：大川歯科経理担当(S 11 年 9 月 7 日生)

妹：田中雅美：日本航空勤務(S 40 年 12 月 30 日生)



1. 氏 名 丸 田 兼 堂

2. 住 所

(自 宅) 熊本市高江町1358-58コーポサクムラ2D

T E L 096-359-4331

(診療所) 熊本市近見町1226-6ちかみ歯科クリニック

T E L 096-359-8001

3. 生年月日 昭和27年7月20日

4. 趣 味 磯釣り

5. 好きな言葉 誠実

6. 経 歴 S58年3月 福岡歯科大卒業
S58年4月 今泉歯科医院勤務(福岡市)
S61年9月 飽田病院歯科勤務
H2年8月 ちかみ歯科クリニック開業

7. 家族構成 妻 : 美和子 (S30年5月7日生)
長男 : 兼士朗 (S57年7月17日生)
次男 : 兼 州 (S59年7月1日生)
長女 : 絵 美 (H1年1月12日生)



1. 氏 名 清 水 弘 光

2. 住 所

(自 宅) 熊本市八景水谷1-6-40 T E L 096-344-3600

(診療所) 同上 T E L 同上

3. 生年月日 昭和28年5月27日

4. 趣 味 読書、音楽鑑賞

5. 好きな言葉 真・善・美

6. 経 歴 S62年4月 鹿児島大学歯学部第二補綴科勤務
H1年3月 " 退職
H1年5月 メイヨ歯科勤務
H1年10月 " 退職
H1年11月 村上歯科医院非常勤
H2年6月 " 退職
H2年8月 清水歯科クリニック開業

7. 家族構成 父 : 晃 明 (T7年11月22日生)
母 : サチ子 (S5年3月7日生)



1. 氏 名 齊 藤 忠 継

2. 住 所

(自 宅) 市内国府3-15-28 T E L 096-364-8076

(診療所) 中央街3-3 T E L 096-355-6156

3. 生年月日 昭和32年12月17日

4. 趣 味 ゴルフ、スキー

5. 好きな言葉 自由

6. 経 歴 S 62年 3 月 神奈川歯科大学卒業

S 62年 4 月 東京都港区虎ノ門の羽多野歯科に就職

H 2 年 1 月 同歯科医院退職

H 2 年 4 月 熊本市中央街に開業、現在に至る。

7. 家族構成 父：忠 (T 10 年 8 月 12 日生)

母：都 (T 14 年 8 月 25 日生)

ことばのルーツ ②

「オジャンになる」

楽しみにしていた旅行が、突然降り出した雨のために中止になったときなどに使います。期待していたことが、ダメになったときのことばです。

語源は、火事を知らせる半鐘の音からきています。といっても、火災にあってすべてダメになった、というところからきているわけではありません。

半鐘は、火元が近いときは、ジャン、ジャン、ジャン……と乱打し、火元が遠いときはジャーン、ジャーン、ジャの二つ半を鳴らしました。そして、どうにか火を消しとめたときにジャン、ジャンと二つ鳴らしたのです。

この火事の終りを意味する「ジャン」が「オジャン」に転化したのです。

菊池英一先生（熊本市歯科医師会監事）の死を悼んで

弔 辞

つゝしんで菊池英一先生の御霊の前に、熊本市歯科医師会を代表して、永遠のお別れの辞を捧げます。誠に思いがけない先生の御逝去は私共、会員一同にとりましても大きな悲しみです。

先生は、いつも大らかで柔和でありその深い思いやりは、先生に接した多くの人々の心を豊かにし、なごやかにして下さいました。そして何よりも、酒を愛し、人を愛し友情を大事にされました。然るに突然、この素晴らしい人を失い私共の胸は悲しみで、ふさがれる思いで一杯です。

先生には、昭和三十九年に日本大学歯学部を卒業され、爾来今日に至るまで、真摯な態度で地域の人々の医療につくされました。他方、歯科医師会の会務に早くからたずさわられ、現在は熊本市歯科医師会の監事の要職にあり、常に会員の親睦と融和に心をくだかれ、私共の言葉に耳を傾け良き助言を与えて下さいました。ここに心から感謝を申し上げます。

先生には、去る七月一日の会員親睦バレーボール大会の折に、元気に応援されるお姿を拝見しておりました。然るに、その翌日病に倒れられ、私共一同、一日も早い御回復をお願い信じて居りましたのに、容体の急変と悲報に接し、唯々茫然とするのみで言葉もありません信じられません。

先生享年五十三才、人生八十年と喧伝される時世にあつて、今までの御苦労が今から報いられようとする時に、最愛の奥様と三人のお嬢様を遺して逝かれることは、さぞかしご無念の思いでありましょう。又、御遺族、皆様の御心痛はいかばかりかと、お察し申し上げるのみでお慰めの言葉もございません。

私共は、あれ程へだてなく、裏も表もなかった先生について語りつきない多くの思い出がありますが、今は、ここに先生から頂いた、数多くの御功績と御交情に改めてお礼を申し上げますばかりです。

菊池英一先生、いまはもう、どうぞ心安らかにお休み下さい。そして遺された御家族を温かく見守って下さい。

名残りは誠につきませんが、これをもって、お別れの言葉といたします。

平成二年八月三十一日

社団法人 熊本市歯科医師会

会長 根 俊 吾



弔 辞

友人を代表して、慎しんで弔辞を申し上げます。

人生八十年と言うのに、菊池君、君は五十三才と言う若さで、あまりにも早く逝ってしまい、何と言う無情なことか？

七月二日に突然奥様から、菊池が急に具合が悪く、日赤に入院しました、と連絡を受け、一瞬お父様のことかと思いましたが、君が倒れたと聞き、おどろきと同時に愕然としました。それから何回となく君の全快を願って見舞に参りましたが、無情にもそのかいなくこのような姿になってしまい、友人一同ただただ淋しさと悲しさで一杯です。

思い返して見ますと、君とは十数年前から、市の歯科医師会の理事として、共に仕事をし、共に学び、共に遊び、三年前から、市の監事として二人して務めてまいりました。

たしか六年ほど前には、ソフトボール大会で右足のアキレスケンが、半分切れかかっていると云って、象の足のようにはれ上っている足をひきづりながら、飲んで廻り、病院ぎらいの君は、とうとう最後迄医者にかからなかった為に、その足は完治せず右足が多少不自由になってしまいました。その為にそれまでは時々ゴルフもやっていましたが、そのゴルフも出来なくなっていました。

年に一回の歯科医師会の健康診断だけは、必ず受診しておられました。その結果はいつも血圧が高いと言っていました。それなのに決して医者にかかることなく、皆んなで飲んでいても塩辛いものが好きで、刺身にタツプリと醤油をかけたり、吸物にわざわざ塩をふりかけて飲んだり、本当に塩辛いものが好きでした。

少し用心をしたらと言っても、自覚症状がないから大丈夫でしょうと安易に考えていたのが結局君の命とりとなってしまった訳です。

宇都宮と良く三人で飲みました。時には冗談に「おれが死んだら弔辞を頼む」などと言って、君が倒れる三日前の六月二十九日迄一緒に飲み、まさかこんなに早く、何の因果で私が君の弔辞を読まなければならないのか本当に信じられない気持ちと悲しみで一杯です。

奥様をはじめ、三人の娘さん達を残し、しかも一番下の娘さんは小学校六年生ということで本当に心残りでしょうが、これも君の運命と思ひあきらめるよりしかたありません。

純真で、おおらかで、皆んなの人々に愛されていた君は、いつまでも我々の心の中に生き続けることでしょう。心から御冥福をお祈りします。どうか安らかに眠り下さい。

友人を代表して最後のお別れをいたします。

さようなら

平成二年八月三十一日

友人代表 山 室 紀 雄

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
7月20日	第26回理事会（総務・庶務・会計・委員会報告・協議）
8月21日	第27回理事会（総務・会計・庶務・委員会報告・協議）
9月21日	第28回理事会（総務・会計・庶務・委員会報告・協議）

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
8月1日	・ 6月29日 Dr. ストーリー、Dr. ルー講演会及びレセプションの反省会 ・ 8月18日「在宅老人歯科診療について」の講演会について ・ 10月13日、市民健康フェスティバルのシンポジウムについての協議
9月18日	・ 9／29（土）第3回学術講演会の打合せ ・ 4月以後の活動計画の確認 ・ 11月の救急蘇生法実習の日程及び内容 ・ ビデオ研修の内容確認
10月2日	・ 「歯周補綴」講演会の反省 ・ 11／16 医療管理との合同委員会の打合せ ・ 10／27.28 G.C.ブラッシングセミナーの件 ・ 11／21.21 救急蘇生法の実習の件 ・ 12／8 全委員会研修会の件テーマ「口腔癌」

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
8月1日	・ 指導内容について - 歯科口腔衛生指導 - 有床義歯指導 - 老人の歯科口腔疾患指導 - P（Ⅰ）（Ⅱ）歯槽膿漏症指導
9月5日	・ 見落としやすい点数の洗い出し ・ 歯科口腔衛生指導料 ・ 歯科口腔疾患指導管理料 ・ 歯槽膿漏症指導管理料 ・ 有床義歯指導料
10月13日	- カルテ記載の検討 ・ 寝たきり老人在宅診療症例集の検討校正 ・ ビデオ研修会 - ベリオ（Ⅰ）の社保説明について ・ CRインレー - 保険請求の研究

学校歯科委員会

月 日	協 議 題
7 月 25 日	・ 全国学校歯科保険研究大会（第54回）について ・ 平成2年度学校医謝礼金年額改定案について ・ 熊本県学校保健研究協議大会について - 宇城学校保健会 ・ 歯みがき巡回指導日程について ・ 九州八市役員会連絡協議会について
8 月 22 日	・ 10月13日（土）熊本市保健フェスティバルについて ・ はみがき巡回指導について10月23日（火）、24（水）、25（木）
9 月 19 日	・ 平成2年度歯みがき巡回指導について ・ 公立保育所嘱託歯科医手当内訳 ・ 県学校保健研究協議大会について ・ 市学校保健会について

口腔衛生委員会

月 日	協 議 題
8 月 10 日	・ 健康フェスティバルの企画 ・ 学校歯科、学術委員会との合同委員会
9 月 18 日	・ 健康フェスティバルについて ・ 市民健康講座について ・ フッ素塗布の日程について

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
7 月 27 日	・ “中岳” 70号第1回校正 ・ “かわら版” 8月号編集
8 月 8 日	・ “中岳” 70号第2回校正 ・ “中岳” 71号の発行予定及び特集について ・ 今後の“中岳”の発行に関して白瀬印刷と打ち合せ
8 月 24 日	・ “かわら版” 9月号編集 ・ “中岳” 71号企画
9 月 26 日	・ “中岳” 71号編集 ・ “かわら版” 10月号編集
10 月 3 日	・ “かわら版” 10月号校正
10 月 5 日	・ “中岳” 71号編集

医療管理委員会

月 日	協 議 題
9 月 6 日	・ 熊本市による平成 2 年患者調査の実施に対する対応について ・ 熊本市による平成 2 年医療施設調査の実施に対する対応について
9 月 11 日	・ 薬物アレルギー及びショック等に対する窓口用ステッカーについて ・ 薬物アレルギー及びショック等に対する窓口用ステッカーについて ・ 9 月 22 日委員会合同移動委員会について ・ 熊本市による平成 2 年患者調査の実施及び平成 2 年医療施設調査の実施に対する対応について

厚 生 委 員 会

月 日	協 議 題
7 月 24 日	バレーボール大会の反省 ・ ルール再確認・終了時間 ・ 組み合わせなど
8 月 24 日	熊本市健康診断の日程 ・ 健康診断の実施決定その手伝いについて ・ 生命保険と年金について
9 月 18 日	・ 厚生担当者連絡会議の報告 ・ 生命保険と年金について

第 1 回選挙管理委員会

月 日	協 議 題
10 月 3 日	・ 平成 2 年 10 月 31 日臨時総会を開催し監事選挙を行う ・ 公示原案を提出し、委員会の承認を得る。 ・ 第 2 回委員会開催日を 10 月 16 日（火）に決定

編 集 後 記

Dental Diamond 3月号より

今回の会誌で「ねたきり老人」の症例報告が掲載されているが、1986年、政府は「長寿社会対策大綱」を発表し、福祉、保険、保健についてかなりの配慮を示し、本年度予算では上記3費目に一般歳出の15%に当たる10兆1,500億円を計上、特にこのなかには新しく「高齢者保健福祉推進10ヶ年戦略」を定め、10年間で約6兆円、今年度分として3,600億円が含まれているそうである。

東京都内のある老人ホームの院長さんの報告によれば、欧米の老人ホームを見学すると寝たきり老人はほとんどいないのでその理由を聞くと、余程の重症でないかぎり毎朝ベッドから離れて食堂で食事をさせるから寝たきりにならないという説明を得たので、早速、自分のホームの患者で立てる人は歩いて、立てない人は車椅子で、ベッドから離れて食堂で食事をさせるようにした結果多くの患者が生きる意欲を取り戻し、元気になったとのことである。これは、起きて自分の口で食べることの重要性を示し、老人歯科医療の原点を示唆する興味深い話である。

行きづまりつつある歯科界において、わずかに希望の光はこの高齢者歯科医療にありと思われるが、その対策及び老年歯科学の確立を早急にはかって行かないと後手をひく結果になるかも知れない。

K・K

熊本市歯科医師会会誌

第 71 号

発行日 平成2年11月25日発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL (343) 6669

FAX (344) 9778

発 行 中 根 俊 吾
責任者

印刷所 株式会社白瀬

熊本市水道町13番14号

TEL (356) 3593